

しまだ 議会だより

No.36

9月定例会

2012(平成24)年11月15日発行

発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ (0547) 36-7204

FAX (0547) 37-2212



目次

- P 2 一般質問
- P 10 議案質疑
- P 12 定例会の概要
- P 12 議決結果一覧
- P 14 常任委員会の報告
- P 17 討論
- P 18 採決結果一覧
- P 19 議員定数に関する陳情審査ほか
- P 20 意見書採択ほか

風情ある
蓬萊橋を舞台に
観月会

一般質問

15人の議員が市政を問う

P3 松本 敏 議員

- 市民が頼れ、安心して通える病院に
- 移転ありきの病院基本構想は疑問だ

P4 八木 伸雄 議員

- 大丈夫か？市民病院の診療体制
- お茶の輸出と補完作物の導入を

P5 佐野 義晴 議員

- 新病院の建設場所は誰が決めるか！

P6 藤本 善男 議員

- 適切なパブリックコメントの実施を
- 橋の点検結果を防災対策に活かせ

P7 清水 唯史 議員

- まちなか集積医療基本構想の今後は
- 大災害時の支援受け入れ体制は？

P8 福田 正男 議員

- 公共施設の耐震性は大丈夫？
- 太陽光発電の利用促進はいかに！

P9 村田 千鶴子 議員

- 地域医療支援病院の環境整備の充実

P10 杉村 要星 議員

- 病院の移転は緑豊かな郊外へ

P3 橋本 清 議員

- 市内の空き家の実態は？
- 肺炎球菌から高齢者を守ろう

P4 大石 節雄 議員

- 南海トラフ巨大地震の備えは万全か
- 鶴山森林公園の観光面での活用は

P5 河原崎 聖 議員

- 移転候補地一本化は早すぎるのでは

P6 原木 忍 議員

- 川根温泉滞在型宿泊施設の財源は
- 小・中学校の「いじめ」の現状は

P7 紅林 貢 議員

- より充実した子育て施策を望む

P8 星野 哲也 議員

- 地震・気象情報の伝達方法は
- 教育行政全般について

P9 桜井 洋子 議員

- 放課後児童クラブの増設を！
- なぜ？固定資産税の不納欠損処分か

質問は、一定時間内に一件ずつ行う「一問一答」方式と複数の質問を一括して行う「包括」方式（質問回数は3回まで）があり、質問する議員が選択します。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市民が頼れ、安心して通える病院に



まつもと さとし
松本 敏議員
(一問一答)

問 安心の医療を提供するため医師、看護師などがその力を発揮できる労働環境の確保が必要だ。

答 医師については、事務作業補助者を採用し負担軽減を図った。看護師は増員に努め、看護補助員も増員を図った。

問 看護師が安心して、長く働ける職場環境の整備はどうか。

答 勤務表の作成では、看護師の希望を優先する。育児休暇から復帰する看護師には育児短時間勤務、部分休業、保育所



全身CT装置など高水準の医療を提供

の利用で安心して働き育児できる環境を作っている。

問 治療の終了後、自宅きない高齢患者もいる。その人に対しどのような

問 対応や助言をしているか。
答 症状が安定してもさまざまな理由で退院が困難な方には、医療ソーシャルワーカーが家族と相談し、老人保健施設への入所、療養型病院への転院などを提案している。

移転ありきの病院基本構想は疑問だ

問 新病院建設事業では「まちなか集積医療基本構想」が作られ、パブリックコメントを行った。寄せられた意見は移転場所に関するものが全体の約3割と多い。市民の疑問にどう答えるか。

答 関心は高く、寄せられた反対の声には理解を求めていく。

問 「基本構想」は移転ありきだ。現地での建て替えも選択肢とすべきだ。

答 あくまで中心市街地に移転する考えだ。

問 来院者や職員の駐車場確保はどうか。

答 来院者の駐車場は現病院の駐車場とほぼ同数の確保が必要だ。職員駐車場の確保も検討する。

市内の空き家の実態は？



はしもと きよし
橋本 清議員
(一問一答)

近年、全国的に空き家が増加しており、防災・防犯上の観点から問題になっている。原因として、本格的な少子高齢・人口減少時代に突入し、単独世帯や夫婦のみの世帯の割合が増加していることが一層空き家率を高めている。市としても空き家再生等推進事業を積極的に活用し、各地域の特性を活かした空き家対策を、積極的に取り組むべきであると考えている。

問 空き家軒数と空き家率はどうか。また長年、人の住んでいない空き家軒数はどうか。

答 空き家軒数は3150軒で、空き家率は8.7%となっている。長年、人の住んでいない空き家軒数は把握していない。

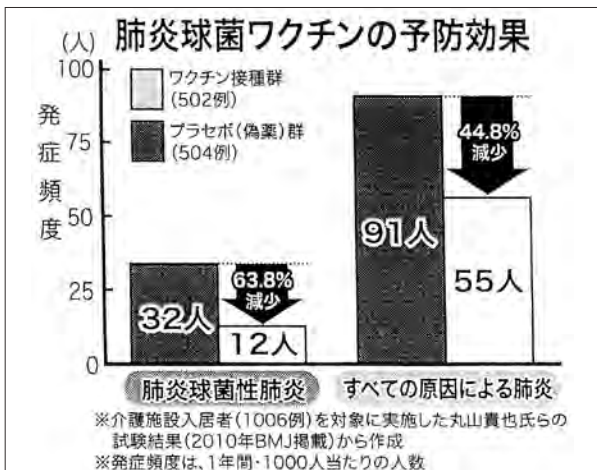
問 空き家は、徐々に老朽化していく。そうした空き家の実態調査は必要であると考えているがどうか。

答 今後の状況を見ながら総合的な空き家対策を実施する際に調査したい。

問 空き家の所有者が、土地と建物を市に寄贈したい場合の支援はあるか。

答 空き家再生等推進事業に該当すれば、個人であれば撤去費用の3分の1程度の資金が出ると思う。

肺炎球菌から高齢者を守ろう



問 肺炎で年間11万人を超す高齢者が亡くなっており、その55%が肺炎球菌によると言われている。このワクチンは、1回の接種で約5年間の効果がある。高齢者の生命を守るためにも、予防接種に公費助成をすべきであると考えているがどうか。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

大丈夫か？

市民病院の診療体制



やぎのぶお
八木伸雄 議員
(二問一答)

問 12月に市民病院の眼科がなくなるといふ噂があるが本当か。

答 眼科の医師3人が、12月末で退職するため休診する見込みだ。

問 脳神経外科に通院していた患者が、救急で脳梗塞になった。病棟の担当医が、なぜ消化器科の医師か。脳神経外科の医師が不足しているのではないか。

答 救急診療で入院したときは、内科系医師が担当することはある。

問 市民病院で人工透析を希望している透析患者の期待に応えられているか。待機者の人数は。

答 人工透析患者数は250人で、そのうち23%が市民病院で透析を受けている。待機者は3人で



茶畑から転作されたこんにやく畑

お茶の輸出と補完作物の導入を

問 お茶を海外に輸出するときの関税が高い。韓国は500%と聞く。輸出しやすい環境を作るべきと思うが。

答 関係者と深い議論をしていく。

問 お茶農家の所得の低下を補完するために、新たな作物の導入を考えるべきではないか。

答 金谷では、カボチャ・じゃがいも、川根では、こんにやく・大豆などを導入している。

問 今年も福島第1原発の影響があったと思われる。補償を求めるべきでは。

答 風評対策に努めたい。

南海トラフ巨大地震の備えは万全か

おおいせつお
大石節雄 議員
(一問一答)



問 災害時に、市内39カ所の避難所へ行けない孤立の危険性にある集落の対応は。

答 土砂災害等で道路を寸断されて、避難所に避難できないことも予想される。各自防災会によっては一時的に集落の最寄りの公民館等に避難せざるを得ない状況になる。今後調査し、十分な把握に努めていきたい。

問 避難所運営会議のマニュアルの徹底と複数の自主防災会が集まる避難

所での自治会の役割はどんな位置付けか。

答 自主防災会の委員長会議を年3回程度実施している。今のうちに、ある程度の避難所運営について研修し合うといいことである。

問 防災資器材、備品補助の支給は、領収書対応だと高額なものに関しては大変である。見積もり対応か請求書対応の形は取れないか。

答 可能かどうか、協議させていきたい。

問 災害復旧に関して市としてよく対応していただいているが、林道対策は、十分ではないと思うがどうか。

答 市道と関連性があるので、協議していきたい。



鵜山森林公園内アスレチック

鵜山森林公園の観光面での活用は

問 県の天然記念物に指定されている鵜山の七曲りというものがある。その七曲りの半島部分に整備されている公園だが、観光面での活用はできないか。

答 体験観光・拘った観光と、お茶尽くし観光ツアーを組んでみたい。簡素的な人間の情緒を味わうようなスポットも非常に大切と感じている。その辺も踏まえて対応したい。

新病院の建設場所は誰が決めるか！



さのよしはる
佐野義晴 議員
(一問一答)

新病院の建設場所を決めるとして、市から「まちなか」に5カ所の候補地が抽出され、市民への意見募集が行われた。

①新病院を建設する場合、これまでは現在の敷地内と公表されてきたが、5カ所の中に現在地が含まれていない。

②事業計画に一切の経費が触れられていない。

③病院が「まちなか」に移転すれば、まちが活性化する根拠と、現在地に建設した場合の数値比較が示されていない。

④病を治す施設である病院を、まちづくりの本題として良いか。以下について質問した。5カ所の候補地から、消去法等により特定の場

誰が決めるか！

所が決められ、これまで発表されてきた費用上限150億円を上回ったとしても、その場所を市民が納得したと解釈するか。

答 今、一概に言えない。市民への意見募集の集計結果、賛同者は極端に少ない。この事実をどのようか考えるか。

問 市民への意見募集の集計結果、賛同者は極端に少ない。この事実をどのようか考えるか。

い。だから、ほとんどが反対でも民意だと思わない。

問 市民が判断できる資料を公表した後で、「皆さん、病院建設について一緒に考えませんか」という意見募集を再度すべきではないか。

答 「市民の皆様、いかがですか」と聞いていたら前に進まない。ここは間接民主主義であるから、選挙で住民から選ばれた議会の意見が優先する。なお、大学を誘致するには病院の移転は避けられない。

パブリックコメントに寄せられた意見の賛否等の仕分け表

項目	肯定的	懐疑等、否定的	賛否分類が困難	合計
A 建設場所	0	78	2	80
B 建設計画	0	48	7	55
C 災害時対応	0	11	1	12
D 医療計画	0	7	0	7
E 交通環境	0	14	0	14
F まちづくり	4	42	3	49
G 検討方法	0	25	0	25
H その他	0	9	2	11
合計	4	234	15	253

<注記>
・肯定的・懐疑等、否定的・賛否分類は、私見による。
・肯定的意見は率にして、1.6%

移転候補地一本化は早すぎるのでは



かわらざき きよし
河原崎 聖 議員
(一問一答)

今年春の市長答弁では150億円ほどと明言している。しかし、今の場所での建て替えの計画でも150億円とされていたものが、中心部に土地を購入し、高層の建物と立体駐車場を造り、しかも当初の予定より100床ほど増える可能性も高いことを考えれば、常識的に考えて現地建て替えと同じ金額に収まるとは思えない。中心市街地活性化の説明に使われている数字も、飛び躍があったり比較対象として不向きなものが使われているように感じる。そして、この構想について商店街や大祭関係者、医療関係者などと話し合いを行ったか。

問 市は基本構想の中で市民病院のまちなか移転の理由として、大地震発生時に現在地では液状化や交通網が分断される恐れがあるとしているが、裏付けとなるような地盤調査を行ったり、現在地の緊急輸送路として国1バイパスや新東名との接続等のメリットや震災時のまちなかの渋滞等のデメリットも含めて検討をしているのか。また、総事業費について基本構想では示されていないが、

答 現病院の地盤調査については、



まちなかへの移転が検討されている市民病院

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

適切な パブリックコメントの実施を



ふじもとよしお
藤本善男議員
(一問一答)

問 島田市まちなか集積医療基本構想が発表されたが、すべての市民に対し、基本構想の趣旨などは確実に伝えられたか。

答 パブリックコメントの実施等を通し、広く市民に周知できたと思う。

問 パブリックコメントの募集期間が短いという市民の意見もあるが、募集期間は適切だったか。

答 今後は反省すべき点は反省し、募集期間も検討したい。

問 広報紙に掲載したパブリックコメント募集の記事では、事業の概要がまったく分からないが。

答 概要の掲載については今後分量等を考慮し、検討していきたい。

問 現病院の敷地は軟弱地盤とのことだが、県の

防災情報では液状化の可能性がない、または可能性が低い、となっている。市の見解はいかがか。

答 敷地全体が複雑な条件であるので、全体としては安定していない場所であるという判断だ。



通行に支障があると判断された木造橋

**橋の点検結果を
防災対策に活かせ**

問 橋梁点検の調査対象数と進捗状況はどうか。

答 調査対象となる橋梁は1213橋あり、平成23年度末までに905橋の点検を実施し、進捗率は74・6%である。

問 調査の結果、危険と判断された橋はあるか。

答 木造の橋1基が通行に支障があり、現在通行止めとなっている。

問 橋梁の点検結果を防災対策に活用する考えはないか。

答 橋梁の健全度とあわせて、災害時の緊急輸送路や防災拠点、孤立防止等の道路ネットワークワークを考慮した長寿命化修繕計画を、平成25年3月までに策定していきたい。

川根温泉滞在型 宿泊施設の財源は



はらきしんのぶ
原木 忍議員
(一問一答)



川根温泉滞在型宿泊施設の建設予定地

問 概算事業費の財源内訳は。

答 21億6900万円の内、過疎対策事業債が20億円、温泉施設基金が3千万円、市の支出が1億3900万円と考える。

問 行政改革との整合性はあるか。

答 この事業は、地域産業の振興、雇用の創出を目的としている。民間能力の活用は今後の状況を見て検討する。

問 事業費が3億6900万円増額された要因は。

答 建築面積の約800平方メートル増と設備機器等の計画の見直しによる。

問 委託会社の雇用は予定人員は何人か。

答 客室等で45人、レストランの管理運営で35人、あわせて80人の雇用を考えている。

問 雇用は、過疎地域の人を優先するか。

答 地元の声を優先するのは当たり前、受託会社に指導する。

問 雇用について説明会を開催したか。

答 川根地区の商工観光団体と話をした。

小・中学校の「いじめ」の現状は

問 小・中学校の「いじめ」の現状は。

答 7月に小学校は15件、中学校は5件の報告があり、おおむね解消されている。

問 「いじめ」のアンケートの実施回数は。

答 1年間で3回から5回実施している。

問 県に報告するような重要案件はあったか。

答 過去5年で中学生において3件あった。

問 「いじめ」対策として、コミュニティスクール導入の見解は。

答 急いで導入すべきではないと考えている。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

まちなか集積医療基本構想の今後は



清水唯史議員
(二問一答)

問 新病院建設候補地の決定の進め方と、予定されるスケジュールは。

答 10月から新病院建設地検討委員会を開催し、地域医療とまちづくりの観点から、専門知見を聴取し、年度内に建設地の選定を考えている。

問 有力候補地となっているジャスコ跡地周辺の整備は考えるか。

答 候補地が決定すればその周辺地域の整備は必要性に応じ検討していく。

問 市民病院は災害拠点病院となっているが、必要な機能は何か。

答 自己完結型の医療救護チームの派遣機能と、耐震構造を有する。そして原則としてヘリコプターの離発着を有することである。



災害ボランティアセンターとなる「おおるり」

問 まちなかに病院が建設される場合、交通量の集中により、本通りから御仮屋交差点までの歩道および水路の整備などが急務と考えるかがか。

答 危険性は把握しており、年次的に対応していく計画である。

大災害時の支援受け入れ体制は？

問 大災害発生時の緊急支援物資の受け入れ拠点はどこになるか。

答 総合スポーツセンターローズアリーナ、金谷体育センター、川根文化センターの3カ所を受け入れ、指定避難所を経由し、被災者に配布する。

問 災害ボランティアの受け入れ体制は。

答 災害対策本部が指示し、社会福祉協議会がプラザおおるりに対応する。

問 必要物資の支援依頼の情報発信の手段は。

答 国、県、支援協定自治体への直接依頼以外にも、ツイッターやフェイスブックなどを利用し全国に向け情報発信を考えていく。

より充実した子育て施策を望む



紅林 貢 議員
(一問一答)

問 みどり幼稚園の移転改築を機会に、認定こども園を開設と聞くが、開園はいつか。

答 平成26年4月1日を予定している。

問 定員は何人か。

答 保育部門は初年度0歳児2人、1歳児・2歳児それぞれ3人計8人でスタートし、幼稚園部門が143人、保育部門が最終17人、計160人と現在のみどり幼稚園と同じになるよう協議した。

問 ほかに取り組むこと

はあるのか。

答 一時保育を取り入れていくと聞いている。

問 認定こども園は、教育総務課と児童課の2課が担当ということだが、この問題も含め、事務的な煩雑さを減らす、また、より充実した子育て、市民に分かりやすくということを考え、子育てに特化した課の新設、あるいは庁内で横断的に子育てや教育を考える、そのような組織が必要と思うが考えはないか。

答 組織の在り方も含め今後検討する必要がある。今まで以上に福祉、教育、医療などの連携、打ち合わせ等の充実をしていく必要があると考えている。

問 放課後児童クラブの施設の拡充が必要ではないか。



現在のみどり幼稚園園舎 (場所：島田市阪本)

答 放課後児童クラブで定員を超過、あるいは待機があるところは、初倉小、六合小、初倉南小と大津小がある。六合東小はスタートの時点で4年生は受け入れない状況もあり、20何人かの待機者もいる。大津小に関しては、新たに学童保育を建設してくれる計画でいる。六合東小については、別の場所での経営をすることを考えている。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

公共施設の耐震性は大丈夫？



ふくだただお
福田正男議員
(二問一答)

問 市役所、市民会館、おるり、市民病院の耐震性はどうか。
答 市役所は平成14年に耐震工事をしており耐震性能は



耐震化が懸念される市民会館

各ランク別の耐震性能と判定基準

ランク	東海地震に対する耐震性能		
		備考欄	
I	Ia	耐震性能が優れている建物 軽微な被害にとどまり、地震後も建物を継続して使用できる。	災害時の拠点となる施設
	Ib	耐震性能が良い建物 倒壊する危険性はないが、ある程度の被害を受けることが想定される。	建物の継続使用の可否は、被災建築物応急危険度判定士による。
II		耐震性能がやや劣る建物 建築基準法上の耐震性能を有し、倒壊する危険性は低い。かなりの被害を受けることも想定される。	
III		耐震性能が劣る建物 倒壊する危険性があり、大きな被害を受けることが想定される。	

※静岡県の判定基準に基づく

問 内閣府はこのほど南海トラフ巨大地震の被害想定を発表した。それによると、県の東海地震第3次被害想定を上回った。市の耐震化計画はどうなっているか。
答 平成27年度までに耐震化率100%を目標にしているが、財政的な裏付けも必要であり、平成25年度から3カ年にかけて、積極的に取り込んでいく。

問 ランクIb、市民会館はランクIIでやや劣る。おるりはランクIb。市民病院の本館はランクII、東館はランクIaである。
問 小・中学校の耐震化計画はどうなっているか。また財源はどうか。
答 県の耐震基準に届いていない学校については、平成29年度末までにクリアしたい。財源的に、ランクIIの耐震対策を行う

問 太陽光発電の利用促進はいかに！
答 代替エネルギーの太陽光発電が脚光を浴びている。今、国・県・市とあわせて約25万円ほどの補助金が出ている。増額は考えていないか。
答 特に考えていない。
問 公共施設の屋根を民間に貸し出して、有効利用を図るつもりはないか。
答 市として研究してみたい。

た場合は48億円程度の予算を考えている。
問 地域ごとの避難経路を明記したハザードマップを作成したらどうか。
答 市として研究してみたい。

地震・気象情報の伝達方法は



ほしのてつや
星野哲也議員
(一問一答)



伝達能力に優れた高性能スピーカー

問 同報無線のラップ型スピーカーの音声の伝達距離が200メートルから300メートルに対し、高性能スピーカー（ホーンアレイスピーカー）は300メートルから500メートルまで伝達できるか。
答 8月末までに2058人が登録している。自主防災委員長会議等でさらに啓発していく。

問 家族全員の無事を知らせる黄色の通称OK旗は全世帯に配布したか。
答 8月末までに2058人が登録している。自主防災委員長会議等でさらに啓発していく。

問 防災メール配信システム（地震・台風・行方不明者情報の携帯電話通信）を導入して3カ月になる。登録者は何人か。また、わずか1回の「広報」の掲載では周知不足ではないか。
答 8月末までに2058人が登録している。自主防災委員長会議等でさらに啓発していく。

（カー）は3倍の伝達能力を持つが導入計画はあるのか。
答 重量があるため、設置場所が制限され、経費もかなり高いので今後検討していく。

教育行政全般について

問 「子ども議会」を開催する予定はないか。
答 今は予定がない。
問 国・県は夏休みを利用して「子ども国会」「子ども県議会」を開催したか。
答 国・県は夏休みを利用して「子ども国会」「子ども県議会」を開催した。

問 教職員採用試験にEQ検査が導入される。どのような試験内容なのか。
答 今まではIQ検査と言いつつ、ペーパーテストと面接を受けて採用されていた。IQを測定する1回だけの試験では教育現場では対応できないケースが増えている。それよりも調整力・自分を表現する力・対人関係を保つていく人間力などEQの心情の部分の力も測定していく。

答 自治会の報告のあった世帯数に配布した。地域の中で付き合っていない世帯へは届けていないと考える。二世帯住宅や配布されていない世帯には福祉課にストックがあるので連絡をいただきたい。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

地域医療支援病院の環境整備の充実



むらたちづこ
村田千鶴子 議員
(一問一答)

島田市まちなか集積医療基本構想が策定され、本格的に事業化が議論される一方で、市民から現病院の医療体制について危惧する声が聞こえる。私は病院建設・移転問題より、まず市民の不安を払拭することが最優先の問題だと考える。移転については市民の命を守る観点から多面的に考え、地域医療支援病院として安心して治療できる病院環境について質問した。

【問】 現病院の医療体制の実態はどうか。
【答】 医師不足により十分な診療体制が取れない診療科もあるが近隣病院や診療所と連携を図りながら対応していきたい。
【問】 眼科が12月に休診と

【問】 基本構想に、現病院用地の活用策も重要な課題とあるが、市長の具体的な考えはどうか。
【答】 大学誘致と100から200ベットの長期療養型病院、地域との一体を図るためにグラウンドゴルフ場をと考えている。
【問】 今後、政策を執行上、市民の理解を得るため住民説明会の開催は不可欠と考えるがどうか。
【答】 基本計画ができた時点で中学校区単位で説明しなければいけないと考えている。

【問】 志太榛原の公的病院では精神科がないが、広域医療圏の中で受け止めてやっていきたい。
【問】 志太榛原医療圏で精神科アウトリーチ事業を検討課題にできないか。
【答】 志太榛原の公的病院では精神科がないが、広域医療圏の中で受け止めてやっていきたい。
【問】 基本構想に、現病院用地の活用策も重要な課題と

【問】 志太榛原医療圏で精神科アウトリーチ事業を検討課題にできないか。
【答】 志太榛原の公的病院では精神科がないが、広域医療圏の中で受け止めてやっていきたい。
【問】 基本構想に、現病院用地の活用策も重要な課題と



精神科アウトリーチ事業（医療訪問支援） 厚生労働省ホームページより

放課後児童クラブの増設を！

さくらようこ
桜井洋子 議員
(一問一答)



【問】 希望者が多く、待機児が出ている六合東小と、大津小の放課後児童クラブの増設を求める。
【答】 六合東小の児童クラブは、当初68人の希望があり、約20人には入所申請を取り下げてください。この地域は増加が見込まれ、どこにどのような形で整備すべきか検討を始めている。明確になったら予算化していきたい。また、大津小の児童クラブは、平成25年度から、運営を社会福



待機児が出ている放課後児童クラブ（六合東小）

【問】 希望者が多く、待機児が出ている六合東小と、大津小の放課後児童クラブの増設を求める。
【答】 六合東小の児童クラブは、当初68人の希望があり、約20人には入所申請を取り下げてください。この地域は増加が見込まれ、どこにどのような形で整備すべきか検討を始めている。明確になったら予算化していきたい。また、大津小の児童クラブは、平成25年度から、運営を社会福

【問】 希望者が多く、待機児が出ている六合東小と、大津小の放課後児童クラブの増設を求める。
【答】 六合東小の児童クラブは、当初68人の希望があり、約20人には入所申請を取り下げてください。この地域は増加が見込まれ、どこにどのような形で整備すべきか検討を始めている。明確になったら予算化していきたい。また、大津小の児童クラブは、平成25年度から、運営を社会福

【問】 希望者が多く、待機児が出ている六合東小と、大津小の放課後児童クラブの増設を求める。
【答】 六合東小の児童クラブは、当初68人の希望があり、約20人には入所申請を取り下げてください。この地域は増加が見込まれ、どこにどのような形で整備すべきか検討を始めている。明確になったら予算化していきたい。また、大津小の児童クラブは、平成25年度から、運営を社会福

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

病院の移転は緑豊かな郊外へ



すぎむらりょうせい
杉村要星 議員
(一問一答)

問 市は今年6月から7月にかけて市民病院の移転についてパブリックコメント(市民意見の聴取)を行い、その結果、建設場所について41人から80の意見が出され、その全てがまちなか移転には反対や疑問の立場であった。そこで市はこのパブリックコメントを尊重して、ゼロから再度全市的に建設場所を再検討すべきと思うが、市は「反対意見が出るのは当たり前だ。賛成の人はサイレントマジORITYといって声を出さないものだ。」などと言い、パブリックコメントの声を認めようとはしない。それではなぜパブリックコメントを行ったのか。書いた人は素直におかしいという思い

まちなか集積医療基本構想(案)パブリック・コメントへの対応結果について

【新病院建設場所】

意見内容	市の対応
旧ジャスコへの移転が既定路線で、他の4候補は当て馬として並べたに過ぎないと思われる。	新病院建設地は特定しておらず、今後検討してまいります。
候補地の5ヶ所を選んだ基準が分からない。	候補地は、まちなかを対象として、核となるべき地や見込みのある地や島田駅を踏まえて関係性を検討しております。
移転候補地について、患者や職員の利便性を本当に考えて候補地を打ち立てているのか。	患者や職員の利便性を含め、総合的に検討しております。

パブリックコメントの声(抜粋)

を意見として書いたのである。私はそうした市の態度に疑問を感じ、パブリックコメントを書いてくれた人に失礼ではないかと思うがいかがか。

答 市民病院のまちなか移転は島田市の将来のことを考え、総合的に判断してやっていることであり、今後、各地区で説明

をしていかなければならないと考えている。意見を無視した、という考えは毛頭ない。

問 病院の移転先は中心市街地の活性化のため、という考えではなく、島田市全域の患者が病気を治療、療養する場として

どういう所が一番ふさわしいか、という考えで選ぶべきであり、緑豊かで閑静な郊外にすべきと考えるがいかがか。

答 病院は交通アクセスが良い所、駅に近い所、コミュニティバスが通れる所など総合的に判断してまちなかが良いと考えている。

議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、6人の議員が19項目について質疑しました。以下、主なものを掲載します。

〔認定第1号〕

平成23年度一般会計決算認定

★固定資産税の不納欠損処分について

問 多額な不納欠損処分、約2億8千万円を行った根拠と、例年と比べ多額になった理由は何か。

答 滞納の累積があり、それを回収する見込みがないと判断し、法令に基づき不納欠損処分した。処分額が多額になった理由は、高額の滞納者が含まれていたためである。

★不妊治療費の助成限度額をなくしたことについて

問 平成22年度に比べ23年度の方が不妊治療助成の申し込みが増えた理由は上限額をなくしたからか。また、それを行ったことで出生数の増加の成果はあったか。

答 不妊治療助成の制度が広く知られたことや助成上限額をなくしたことが申し込みの増加につながった。それにより、出生率も43・2%から46・4%にアップした。

★フッ素洗口で強い歯を持つ児童に

問 児童にフッ素洗口を行った効果はどうか。またフッ素洗口を行った児童は何人か。

答 フッ素洗口を行っている川根の学校の例では、生徒1人当たりの虫歯は0・2本と少ない。一方、未実施校は1・22本であり効果は出ている。フッ素洗口の実施は幼稚園児が671人、保育園児が56人、小学生が495人、中学生が138人、その他、園

や学校以外で行っている子どもが587人で合計2447人。これは全体の児童・生徒の24・8%に当たる。



毎週、頑張っているフッ素洗口

た件数は12件である。

【議案第61号】

平成24年度一般会計

補正予算

★新病院建設地選定事業について

問 新病院建設地選定事業の約114万円の目的と詳細は何か。

答 新病院の建設地について検討を行う新病院建設地検討委員会の委員報酬であり、委員は5人、会議は4回程度を予定している。

★太陽エネルギー利用促進事業について

問 太陽光発電システム設置補助金の増額だが、当初予算の3倍もの増額となった理由は何か。また最近まで予算切れを理由に断ってきた人に連絡する対応をとるか。

答 平成23年度末の滞納世帯数は2488世帯、滞納金額は8億8205万円。また23年度で申請減免を実施し

答 当初予算では年間100件を見込んだが、申請が予算を大きく上回り、予算が不足した。補正では月30件の申請に対応できる額を計上した。今年6月から9月に申し込んだ方にはさかのぼって助成する。

★特定不妊治療費助成事業について

問 島田市独自で行っている不妊治療の助成内容および県の助成制度との関連は何か。また、申請の見込み数はどうか。

答 静岡県の助成制度を優先利用し、残りの部分について市が助成を行う。年間上限50万円。平成25年3月末までの助成の見込み件数は144件である。

★おおりの島田図書館跡の整備について

問 建設課などがおおりに移るが、バリアフリー化はどうか。またおおり2階の図書館分館はどのような改修をするか。

答 新たなバリアフリー化は行わない。図書館分館は、資料の保管だけでなく、通常の図書館サービスを行えるよう必要なスペースを確保する。

★予防接種のポリオワクチンについて

問 生ワクチンから不活化ワクチンに変わる理由は何か。また対象者への周知はどうか。

答 生ワクチンは、極めてまれに麻痺被害が見られたことから、リスクが一切ない不活化ワクチンに変更した。

【議案第66号】

長期継続契約に関する条例

★契約期間を複数年にする契約ができる

問 契約期間と金額はどれほどと予想するか。

答 契約期間は物品の借り入れは5年を限度としたい。金額は年合計で約3億円、平均では1件80万円程度を見込む。

【議案第72号】

山村都市交流センターに関する条例

★山村都市交流センターの利用料の改定について

問 値上げの理由は何

か。また宿泊者の区分を2区分から3区分に細分化する理由は何か。

答 値上げの理由は、利用者へのきめ細かなサービスを充実するためである。区分をこれまでの児童・生徒と一般の2区分から、中学生等、高校生、一般の3区分にする。これは県内の他施設を参考にした。



小学校時代の懐かしい思い出を感じさせる山村都市交流センター「ささま」

一般会計補正予算は1億8117万円を追加し可決

平成23年度決算は 一般会計はじめ11件を認定

9月定例会は、平成24年8月31日から9月28日までの29日間の会期で開催されました。審議された議案は、平成23年度の決算認定11件、予算・条例等の一般議案20件、議会側からの提案3件です。

各会計決算の認定

決算の認定は、市当局の行った事業の内容や、成果を検討し、今後の市政運営に生かすという大切な仕事です。なお別表において平成23年度の決算状況（一般会計、特別会計、水道・病院の企業会計）を掲載しました。また、健全化判断比率、公営企業の資金不足比率の表も併せて掲載しました。（13ページ参照）

一般質問には

15人が登壇

3日間にわたり一般質問が行われました。その中では、島田市民病院をまちなかへ移転する基本構想にあたり「中心市街地の活性化」、「駐車場のあり方と敷地問題」、「パブリックコメントにおける市民の意見」、「固定資産税・都市計画税の不納

欠損処分」に8人から、教育全般（子育て・いじめ・通学路・放課後児童クラブ）に5人から、防災対策には（同報無線の見直し・災害発生時の支援対策）について3人から、市政に関する多くの質問がありました。

H24一般会計補正予算の主な内容

補正予算は、一般会計・国民健康保険事業特別会計・簡易水道事業特別会計・介護保険事業特別会計・後期高齢者医療事業特別会計など5件の審議を行いました。新病院建設地選定のための検討経費113万円、特定不妊治療に対する助成金の増額に1370万円、献上茶謹製事業実行委員会への補助金280万円、岩手県山田町・大槌町産業復興支援事業520万円。静岡県・浙江省産業観光

議決結果一覧

○全員賛成で認定・可決

- 平成23年度決算認定のうち
 - 国民健康保険事業特別会計決算
 - 簡易水道事業特別会計決算
 - 土地取得事業特別会計決算
 - 休日急患診療事業特別会計決算
 - 公共下水道事業特別会計決算
 - 介護保険事業特別会計決算
 - 介護サービス事業特別会計決算
 - 後期高齢者医療事業特別会計決算
 - 水道事業会計決算
 - 病院事業会計決算
- 平成24年度補正予算のうち
 - 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
 - 簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
 - 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
 - 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
- 長期継続契約を締結することができ
る契約を定める条例
- 暴力団排除条例
- 防災会議条例の一部改正
- 災害対策本部条例の一部改正
- 幼稚園に関する条例の一部改正
- 野外活動センター条例の一部改正
- 山村都市交流センター条例の一部改正
- 町の区域の変更について

○賛成多数で可決

- 平成23年度決算認定のうち
 - 一般会計決算
- 平成24年度補正予算のうち
 - 一般会計補正予算（第2号）

○賛成少数で否決

- 一般会計補正予算（第2号）に対する修正案

財産の取得について（コミュニティバス車両購入）

財産の取得について（消防ポンプ自動車機装購入）

市道路線の認定について

市道路線の廃止について

平成23年度島田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

財産の取得について（デジタル防災通信システム整備）

特別委員会の設置について（議員定数に関する特別委員会）

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

議員派遣について

展出展事業228万円などが提案されました。さらに特別会計4件の補正予算も提案されました。

H24 一般会計補正予算に対する修正案

一般会計補正予算には、新病院建設地選定事業として113万9千円が計上されましたが、まちなか移転は、十分な説得力を持っていない、また市民の理解が進んでいないとして、新病院建設検討委員会を立ち上げることが時期尚早であるとの理由で、2人の議員から一般会計補正予算のうち、新病院建設地選定事業に関する予算を削除する修正案が議会最終日に提案されました。

条例が7件提案

主な条例では、本市から暴力団の排除を推進し、

平成23年度会計の決算状況 (単位：万円)

会計	歳入	歳出	差引額	
一般会計	365億5262	338億7149	26億8114	
特別会計	国民健康保険事業	102億6998	98億5388	4億1610
	簡易水道事業	1億0553	9972	581
	土地取得事業	4億8117	4億8117	0
	休日急患診療事業	2109	1190	919
	公共下水道事業	7億6248	7億4760	1488
	介護保険事業	62億7338	62億5226	2111
	介護サービス事業	7071	4764	2307
	後期高齢者医療事業	9億3070	9億0197	2873
小計	189億1504	183億9614	5億1889	
合計	554億6766	522億6763	32億0003	

(注) 表中の差引額の不整合は、万円未満四捨五入による端数整理によるものです。

平成23年度企業会計の決算状況 (単位：万円)

会計	収入	支出	差引額	
水道事業	収益的	9億7652	9億3533	4119
	資本的	1億1165	3億5405	△2億4239
病院事業	収益的	128億8974	123億8391	5億0583
	資本的	7億6960	10億9337	△3億2377

(注) 表中の差引額の不整合は、万円未満四捨五入による端数整理によるものです。

健全化判断比率

健全化判断比率	島田市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-% なし	12.32%	20.00%
連結実質赤字比率	-% なし	17.32%	30.00%
実質公債費比率	10.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	68.6%	350.0%	

公営企業の資金不足比率

特別会計の名称	平成23年度	国の基準 経営健全化基準
島田市水道事業会計	-% なし	20.00%
島田市病院事業会計	-% なし	20.00%
島田市簡易水道事業特別会計	-% なし	20.00%
島田市公共下水道事業特別会計	-% なし	20.00%

(各比率の算定式)

実質赤字比率=実質赤字額/標準財政規模、連結実質赤字比率=連結実質赤字額/標準財政規模

実質公債費比率=実質公債費/標準財政規模等、将来負担比率=将来負担額/標準財政規模等、資金不足比率=資金不足額/事業の規模

平成23年度の決算審議では、固定資産税・都市計画税(約2億7957

議案質疑に6人が登壇し、19件について質疑

市民の安全かつ平穏な生活を確保し社会経済活動の健全を目的とする暴力団排除条例が審議されました。また、幼稚園の保育料や野外活動センターの基本利用料の一部改正などが審議されました。

万円)が地方税法第15条の7第5項の規定により、不納欠損処分が行われ、その処分が適正であったか、また、一般会計補正予算で、太陽エネルギー利用促進事業や特定不妊治療費助成事業の内容について、質疑が行われました。

議員定数に関する特別委員会の設置

島田商工会議所・島田市商工会・島田市自治会長連合会から、「議員定数の削減に関する陳情」、島田青年会議所から「議員定数の妥当性検討に関する陳情書」が提出されました。議会では厳しい財政状況のもと陳情提出者の趣旨を真摯に受け止めるため、市議会も財政改革の例外ではなく、誠実か

意見書の採択

つ、真に市民の付託に答え、適正な議員の定数に関する調整・研究を行うため特別委員会を設置することにしました。

追加議案

最終日の9月28日にはデジタル防災通信システム整備として移動局無線装置の購入に伴う財産の取得について追加議案が提出されました。これら市当局側から提案された各議案は、慎重審議のうえ、採決に付した結果、すべてが認定・可決されました。